

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-142	24-323	慶應義塾大学名誉教授 加藤眞三
題名 (原題/訳)		
The feasibility of integrating an alcohol screening clinical decision support tool into primary care clinical software: a review and Australian key stakeholder study プライマリケア臨床ソフトウェアへのアルコールスクリーニング臨床意思決定支援ツール統合の実現可能性：レビューとオーストラリア主要関係者調査		
執筆者		
Rachel Canaway ¹ , Libby Dai ² , Christine Hallinan ² , Cassandra Caddy ³ , Kelsey Hegarty ^{2,4} , Douglas Boyle ²		
掲載誌		
BMC Prim Care. 2024 Dec 2;25(1):408. doi: 10.1186		
キーワード	PMID	
アルコール使用、妊婦健診、オーストラリア、臨床意思決定支援システム、妊娠前ケア、妊娠、ソフトウェアツール	39623299	
要 旨		
<p>背景：本研究は、妊娠中または妊娠を計画している患者に対するアルコールスクリーニングを促すため、オーストラリアの一般診療臨床管理ソフトウェアに臨床意思決定支援ツールを統合する実現可能性を探った。適切な臨床意思決定支援ツールの定義、スクリーニングツール使用の促しが発生すべき状況、および成功した導入の障壁と促進要因に関する理解を深めることを目的とした。</p> <p>方法：本実現可能性研究では、混合手法アプローチと目的的サンプリングを採用し、インタビュー対象となる主要な利害関係者を特定した。参加者には、オーストラリアの一般診療で使用される臨床ソフトウェアのベンダー、一般診療の臨床医、および関連するその他の関係者が含まれた。文献レビューと23件のインタビューから得られたデータを分析し、その結果に基づく提言を、追加の22名の利害関係者による「感覚的検証」に付した。</p> <p>結果：オーストラリアの一般診療所で使用されている臨床ソフトウェアパッケージは少なくとも18種類存在するが、妊娠用アルコールスクリーニングツールをオーストラリアの大多数の一般診療所向けソフトウェアに統合することは実現可能である。妊娠用 AUDIT-C アルコールスクリーニングツールは、この目的に適していると広く受け入れられた。臨床医からは、スクリーニングの最大の障壁として、妊婦健診時間内の時間不足と、長時間診察に対する報酬不足が指摘された。多くの臨床医は、アルコール・タバコ・その他物質使用、メンタルヘルス、家庭内暴力・家族内暴力、および健康な妊娠に資するその他の領域のスクリーニングと臨床的意思決定支援を統合できる多機能妊婦健診ツールの導入機会を認識していた。このツールは妊娠前スクリーニングやカウンセリングにも機会を捉えて活用可能である。専門職団体による教育キャンペーンがツール導入を支援し得る。</p> <p>結論：妊娠中または妊娠を計画している女性を対象としたアルコール使用スクリーニングツールを一般診療用臨床ソフトウェアに統合することは実現可能である。ただし、単独のアルコールスクリーニングツールよりも、その他の心理社会的要素を組み込んだ多機能な産前スクリーニングツールの方が有用とみなされた。広く導入可能な受容性の高いツールを開発するには、ベンダーおよびエンド ユーザーとの共同設計が必要である。妊娠前および妊娠初期におけるアルコールスクリーニングを促進するためには、GP 報酬体系の問題にも対処する必要がある。</p>		